

諸因日々新聞集

大夜
二百七十
四号



南堀江下通三丁目
清水突藏の支配地
裏長屋有井戸端
九六七十日回を経る男女分々
さう左りの腕骨より
切ら有藤家
より水々液の
来々之と云て大
警と伍長と告伍
長之を官へ訴うと
真の奇怪のことありや

東京新聞小見の
腕を大のくま来りし
話あり是埋葬の
疎るより大の堀
出せしより若
費エを厭ふ自ら
其旁と勤し可し
因て此を記し
不信の者と戒し有

柳櫻記

水谷



川傳梓